

## タケモルカチオン EV (乳剤)

## タケモルフィラー A-1 (防水下地用セメントフィラー : ローラー塗り)

## タケモルフィラー A-2 (不陸調整用セメントフィラー : コテ塗り)

タケモルカチオンEVは、カチオン系モルタル混和剤です。専用セメントフィラー (=タケモルフィラーA-1またはA-2)と混合することによって、モルタル下地に強固な接着を示す、強靭で耐水性に優れた樹脂モルタルを形成します。

完全硬化後の樹脂モルタルは、溶剤系プライマーとの接着にも優れ、防水層や、床面の下地などの下地調整に適します。

防水下地用 1～2mm薄膜用 1mm塗膜仕上げ/約10㎡

【施工例】	標準塗布量
①下地の清掃/レイタンスや油分の除去	
②タケモルカチオンEVに同量の清水(水道水)を加え混合した希釈液の塗布	0.2 kg/㎡
③乾燥後(晴天時20℃で約2時間以上養生後)	
④-1 約1～2mm程度の浅い不陸の場合は、タケモルフィラーA-1を使用します。	約 3kg/㎡
配合比	
タケモルカチオンEV	3 kg
清水(水道水)	7 kg
タケモルフィラーA-1	20 kg
(手順) 混合には、モルタル混和に適したハンドミキサーをご使用ください。 タケモルカチオンEVと清水を混合し、混合しながら、タケモルフィラーA-1を徐々に加えてゆきます。ローラー、コテで仕上げます。 十分に硬化してから、防水材等の塗装を始めます。 さらに、プライマー等を塗布するには、塗装間隔 夏2日 冬4日が必要です。	

不陸調整用 2～5mm厚以上 3mm塗膜仕上げ/約3㎡

【施工例】	標準塗布量
①下地の清掃/レイタンスや油分の除去	
②タケモルカチオンEVに同量の清水(水道水)を加え混合した希釈液の塗布	0.2 kg/㎡
③乾燥後(晴天時20℃で約2時間以上養生後)	
④-2 約2～5mm程度の深い不陸の場合は、タケモルフィラーA-2を使用します。	約 8kg/㎡
配合比	
タケモルカチオンEV	2 kg
清水(水道水)	2～4 kg
タケモルフィラーA-2	20 kg
(手順) 混合には、モルタル混和に適したハンドミキサーをご使用ください。 タケモルカチオンEVと清水を混合し、混合しながら、A-2を徐々に加えてゆきます。 コテで仕上げます。 十分に硬化してから、防水材・床材の塗装を始めます。 さらに、プライマー等を塗布するには、塗装間隔 夏2日 冬4日が必要です。	

荷姿	タケモルカチオンEV (乳剤)	4 kg (ポリ容器)・18 kg 缶
	タケモルフィラー A-1 (専用セメントフィラー : 防水下地用)	20 kg
	タケモルフィラー A-2 (専用セメントフィラー : 不陸調整用)	20 kg

- 【ご注意】○段差が深い場合には、一度に埋めずに、10時間以上の養生後に塗り重ねてください。  
○プライマーを塗布するまでには、夏期で2日、冬期で4日以上以上の養生が必要です。  
○施工時の気温が5℃以下、または、降雨が6時間以内に予想される場合は、施工を避けてください。  
○水の添加量は、作業性、仕上りモルタルの強度に影響しますので、配合比を守ってください。  
○夏期は、日中の炎天下での施工は避け、早朝/夕刻の涼しい時間に施工願います。

- 【取扱い】 ○モルタル作成時には、直射日光を避け、使用する水は必ず水道水を使用して下さい。  
○使用した用具は速やかに水で洗浄して下さい。  
○タケモルカチオンE Vの乳液がこぼれた場合には、布や、乾燥砂に染み込ませて回収して下さい。  
○取扱い後は、必ずうがいをを行い、石鹼等で手洗いをして下さい。
- 【応急処置】 ○皮膚に付着した場合は、すぐに拭き取り、石鹼水で洗い落としてください。  
○目に入った時は、ただちに多量の水で洗眼し、医師の診断をうけてください。  
○誤って飲み込んだ場合には、すぐに医者診断を受けてください。
- 【保管】 ○容器は確実に密閉し、直射日光、雨、結露を避け、5～40℃の冷暗所に、一定の場所で保管ください。
- 【廃棄】 ○廃液はみだりに、河川、溝等に流さずに、産業廃棄物として処理して下さい。  
○容器は、中身を使い切ってから、産業廃棄物として処理して下さい。
- 詳細な内容が必要な場合には、カタログ又は、製品安全データシートをお読みください。

**タケモルカチオンE V作成のカチオンモルタルの物性**

物性値：作成試料は、室温（20℃/RH60%）5日間養生

タケモルフィラー（A-2）+タケモルカチオンE V+水

（混合比 20 : 2 : 4）=重量で計量

試験項目

試験項目		(タケモルカチオン+フィラー+水) 混合モルタルの物性		
一般特性	比重 (20/20℃)	1.63	JIS K 5400 に準ず	
	可使時間 (分) 凝結時間 (時間)	20℃/ 40～60 以内 始発 12 終結 15	JIS R 5201 に準ず	
物性	曲げ強さ	(kgf/cm <sup>2</sup> ) 90	JIS R 6203 に準ず	
	圧縮の強さ	(kgf/cm <sup>2</sup> ) 200	〃	
	透水性	(g) 4	〃	
	密着強さ (kgf/cm <sup>2</sup> )			
	状態	モルタル板	12/B 材破壊	〃
		スレート板	5/A 材破壊	〃
		砂つきアスファルト	5/A 材破壊	〃
浸水後	モルタル板	15/A 材破壊 (浸水条件 JIS A 6910)		
冷温繰り返し	モルタル板	20/A 材破壊 (冷温繰り返し条件 JIS A 6910)		

**タケモルカチオンE V品質規格と成分**

品名	タケモルカチオンE V
成分	エチレン酢酸ビニル共重合体カチオン系エマルジョン添加剤

	項目	規格値	備考
品質規格	外観	乳白色エマルジョン	
	不揮発分	55%	
	酸・アルカリ度	6.0	PH計による
	イオン度	カチオン	
	粘度	3000～7000	センチポイズ (20℃)
	比重	1.06	(20/20℃)
	機械安定性	良好	
	化学安定性	良好	

法規制： 消防法 ・危険物 該当せず  
毒劇物取締法 ・毒物性なし 該当せず  
労働安全衛生法 ・乳剤 該当せず  
プレミックスセメント 該当  
予防=防塵マスク